



ゆんたく 2018 Vol.29 都島

Contents

理事長 巻頭MESSAGE

特集ーリフォーム完成報告・建替新築工事について

幼児教育の現況／都島児童館の取り組み／インフォメーション

特別養護老人ホーム ひまわりの郷・友洲地域在宅サービスステーション ひまわり

沖縄からの便り／比嘉正子地域貢献事業研修センター

リクルート活動／法人厚生活動

本部からの報告／危機管理コミュニケーションの課題

社会福祉法人 都島友の会



“育て、育てあう” 恵まれた環境の中で 都島桜宮保育園の歩み

社会福祉法人都島友の会 理事長 渡久地 歌子

本年4月、都島桜宮保育園は、かねてから懸案だった都島地域の待機児解消のため、増改築を行うとともに既存の建物を全面改修いたしました。完成した園舎は、法人創設者比嘉正子夫妻の想いを託した2つの三角屋根（ヒラミッドパワー!!）、壁面は信楽焼の陶板の「ひまわりのレリーフ」、3階ホールには「日本の保育の始まり」と伝えられる「少子部連と子ども達」をモチーフにした緞帳など、以前の園舎の面影を残しつつ、バステル調に装いも一新、内部は天然素材やナラの無垢材をふんだんに取り入れ、子どもたちをやさしく健やかに包み込む魅力たっぷりな空間に生まれ変わりました。そして準備万端、いよいよ来春には幼保連携型認定こども園として出発します。

都島桜宮保育園は、平成3年（1991年）4月、都島区中野町5丁目 淀川貨物線跡地に開園しました。都島区、とりわけ当園の所在する一帯は昔から淀川と深い関わりがあり、川との深いつながりの中で人々の暮らしが営まれ、淀川そのものの存在が文化を育む場となっていました。

川辺の水は大変きれいで、飲料水となり、豊臣秀吉の頃はこの水を「茶の湯」として愛用されたとも伝えられ、この辺を「青湾」と名付け、今も「青湾」の碑があります。また明治20年代頃までは「水屋」という人たちが飲料水として売っていたそうです。

一方、淀川は暴れる河川でもありました。大正14年（1925年）頃までは、5〜6年に1度は大雨のたびに氾濫、大雨で橋も流されることもあり「源八の渡し」なる渡し舟の舟付き場は、昭和30年代後半までありました。そのため、河川改修や築堤工事の記録が数多く残っています。川幅が狭く蛇行していた下流部を川幅500mを超える放水路（新淀川）に開削、併せて毛馬の旧淀川には洗堰が設けられ、洪水時に大阪市内に流入する水量の遮断・調節が可能になりました。同時に、

「その拠点としての都島桜宮保育園の誕生です。」

誕生の成り立ちを原点として、街全体で「育て育てあう」地域ぐるみの保育を目標にしました。当園が、「親育」の場、「地域共生」の場であると考えたのです。そのためには地域や保護者との繋がりを深め交流していくことを第一と考え、またその継続が大切であると考えました。27年経った今日も、歴代園長をはじめ全職員がその理念を継承し、地域の皆さんとの連携を大切に、「街全体で育て育てあう」環境作りの努力を続けてきています。

小、中、高等学校、高齢者の皆さまとの世代間交流は、異なる年代、多様な関わりの中で、命の大切さや豊かな人間への育ちを学んでいます。地域社会に向けての活動、特に近隣の方々との交流も活発です。地域諸団体の行事には積極的に参加し、先日は、「昭和会」の皆さまが都島中学校グラウンドで栽培をした「じゃがいも」掘りを体験させてもらいました。「野菜作りの師匠」と呼ばれる近所の店主さんからは、玉ねぎ、キュウリ、ナス、スイカなど季節の野菜作りを教わり、種まきから収穫まで、生命の不思議さ、育てる楽しさを学ばせていただいています。保護者の方々との交流も特色です。親子行事「ふれあいデー」を開催し、周辺の公園でのスタンプリー、クッキング（カレー作り）、園庭開放日には地域の親子参加（月1回）、子育て相談、諸々悩み相談も受け付けています。お父さん同士の交流を図る「パパイベント」も今年で5年目、父親目線での子育ての悩み、趣味の話題、そこから新しいつながりも生まれてきました。

職住近接の快適な都心の中、行事や給食とは一味違う楽しい食のイベントを催し、もちつき、ぜんざい、おでんパーティー、たこ焼き、焼きそば、お好み焼き、さんま焼や魚の三枚おろし、バーベキューにそうめん流し等、戸外の運動場で、食べる楽しみ、作る楽しさを味わっています。

淀川の土筆や菫、たんぼぼ、桜、ビーチバレーに天神

船の航行ができるよう水位を調節する毛馬閘門がつくられました。

本来「きれいな水」「飲める水」だった淀川も、近代化と共に、汚染され、明治28年（1895年）に大阪市水道の水源地として「桜ノ宮水源地」を作りました。その水を貯める水がめが、淀川沿いから都島桜宮保育園、隣接する特別養護老人ホームからまつ苑の地下に埋められています。（建築中、基礎工事で発覚）。水道70周年記念として「大阪水道発祥之地」の碑を昭和40年に建てられ、今もその碑が残っています。

現在この一帯は、当園の園舎、道を挟んで北側には大阪市立総合医療センターやグラウンド、そしてモダンで斬新なマンション群等が建ち並んでいます。ここには日本国有鉄道（国鉄）の淀川電車区と淀川駅（貨物駅）のある広大な土地でした。ただ昭和20年の大阪大空襲を受け全焼してしまいました。

戦後、焼け野原となった跡地に大阪市電都島車庫ができ、長らく大阪市電や市バスの車庫として使用されていましたが、時代が移り、地下鉄やモーターゼーションの流れと共に廃止。平成2年（1990年）、再開発の計画が立ち上がります。

時はまさにバブルの時代。桜宮リバーシティ・ウオータータワープラザなどグレードの高いマンション群が続々と建設され、保健センター、勤労青少年ホーム、そして平成5年（1993年）、大阪市制100周年記念事業の一環として、大阪市の既存の5施設を統廃合し、大阪市の中核病院の役割を果たす大阪市立総合医療センターが開院されます。当時、この地の再開発の際、「子どもから高齢者まで」を包摂する福祉ゾーンとして、「街づくり」の相談が寄せられました。それを受けて法人は、企画、構成、設計までを準備しましたが、これまで高齢施設運営の経験がないこと、また当時の経営状況等を鑑み、児童施設の建設運営のみを引き受けることにしました。「子どもが育ち、子どもを育てあう街づく

祭、花火、秋の紅葉…、美しい環境、地域の良き隣人にも恵まれ、都島桜宮保育園の子どもたちは、乳児期の段階から、人と関わる喜び、楽しさの中で、安心、安全、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中、心地よい生活リズムと食習慣の基礎を養っていきます。身の回りのことが少しずつ自分でできるようになる幼児期に入ると、「幼児教育・養護」が始まり、知・徳・体、三位一体となったバランスのいい教育・保育は、開園当初より続いています。運動会、発表会での発表では、子どもたちの「やる気」「チャレンジ精神」「楽しむ姿」は圧巻です。

従来の定員120名から、現在223名（分園25名、本園198名）に定員を増員しても、園の気持ちは高く、希望者が多いため、職員確保に苦戦しておりますが、法人全体で取り組む研修や勉強会を含め、元職員、非常勤職員の援助の中、家庭的であたたかい環境の中で、今までも増して質の高い教育・保育を提供できるように、私たちはさらなる努力を傾けてまいります。

「子どもも育ち、我も育つ」。当園創設以来の精神です。どうかご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



ついに完成!!

NEW★友渕児童センター



テーマは、マリンワールド・大航海!!

新年度から始まった友渕児童センターの改修工事。約2か月半の仮園舎の暮らしにピリオドを打って、7月より、リニューアルした友渕児童センターでの生活がスタートしました!

「海」をイメージに、美しくリノベーションされた園舎には、想像を超えるようなサプライズと発見がいっぱい! 新たな発見を見つける度に子どもたちは指を差し、大喜び。なかでも一番のお気に入りスポットは、入り口のピロティーでお出迎えしてくれる、ガラスで作られた海の生き物たち。「この魚の名前は?」「カニがおにぎり持っているよ」と子どもたちが園庭で遊びながらもふと足をとめ、友だち同士で嬉しそうに話す声が聞こえます。

保護者の方からも「園がバステルカラーになり明るくなりました」「保育室前、外階段の雨避けが出来て嬉しい!」と喜びの声が寄せられています。

友渕児童センターの35年の歩みを大切にしながら、これからも笑顔の花をたくさん咲かせられるよう、職員一同、努力を続けてまいります。

まっさらな園舎で、子どもたちの新しい生活が始まりました。

昨年の7月に新園舎増改築工事が始まり、ちょうど1年が経ちました。新しい園舎は、木の温もりがいっぱいで、明るい室内には窓から優しい太陽の光が降り注いでいます。どの保育室も広々としたスペースで、子どもたちも、自分の好きな玩具や場所を見つけて、それぞれのあそびを存分に楽しんでいきます。



都島桜宮保育園

5歳児保育室でのコーナーあそびでは、折り紙や、カプラ、舞台ではダンスを踊ったりと子どもたちが主体となって遊んでいます。



子どもたちにインタビューしました!

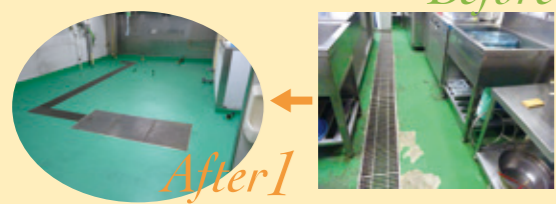
新園舎ワクワクアンケート♪

- ・ 保育園がキレイになって毎日楽しい♪
- ・ 赤ちゃんの部屋でたくさんあそべるようになった (0・1歳児保育室が繋がっている為)
- ・ お部屋の前の廊下から園庭のお友だちとお話できるようになった
- ・ 3階のホールが広がって嬉しい♪



他にもたくさんの「ワクワク」があり、みんな毎日楽しく過ごしています。

Before



After1



After2

友渕児童センターの分園の開設に伴い、2Fの給食室が新設されてから14年が経ち劣化が目立つようになっていきましたが、4月末に床の塗装、配管、器具のメンテナンスなど修繕工事も無事終わりました。きれいにリニューアルされた給食室で腕にも磨きがかかり!日々おいしい給食を提供してもらっています。

都島友渕乳児保育センターの給食室もリニューアルしました!!

壁面は波しぶき!

こんなところにジンバイザメ発見!

雨避けの屋根がついて快適に! 柱はカラフルに変身しました☆

きれいだな♪

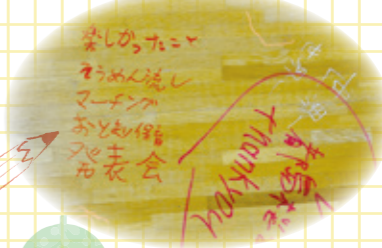
太陽もきれいに生まれ変わりました☆

H30年7月8日



みんなで記念撮影!

新園舎お披露目会 & プチ同窓会がありました。



H29年7月22日



増改築前の園舎お別れ会では、卒園児が思い出しの園舎にメッセージを書いてくれました。



都島東保育園・ こども発達サポートステーション それいゆ 建替新築工事が本格化します

私たちが勤務する都島東保育園・こども発達サポートステーションそれいゆの建替新築工事が、着手されることになりました。そこで法人本部の寄瀬事務局長に、新しい園舎の概要や今後のスケジュールについてお聞きしました。



完成予想図

Q 建替新築に至る経過を教えてください。

A 当法人では、老朽化した各園舎の建替や整備を計画的に進めています。平成24年度は都島児童センターの建替新築、平成29年度は都島桜宮保育園の増築と大規模リニューアル、そして本年6月に、友渕児童センターの大改修が終わりました。

都島東保育園の建物も、こども発達サポートステーションそれいゆ・東都島老人憩の家との複合施設。昭和51年竣工で42年を経過しています。

外見上は比較的綺麗な建物に見えますが、躯体（くたい）の劣化、給排水など設備の劣化が著しく、保育・療育環境の向上を図るためにも建替が急務となっております。

平成29年度から準備を進め、大阪市に都島東保育園の建替整備を申請。今年3月に開催された法人選考委員会で、平成30年度の民間保育所建替整備補助事業として、採用されたのです。

Q 新しい園舎は、どのような建物になるのでしょうか。

A 新築する建物は、今までと同様、複合施設となります。敷地全体を使い、4階建てとなるため、延床面積は2.2倍の約2,300㎡です。

都島東保育園は、法人各園の中でも光と

緑いっぱい施設であることから、新園舎の中には森をイメージした広々とした多目的ホール（2階吹抜け・約230㎡）を設置。3階・4階の屋上には、太陽の光を受け走り回ることのできる運動場を設けることとしています。

入園希望者が多く、また東都島地域で高層マンションの建設が相次いでいるため、定員増（41名）とともに、子育て支援室・特別教室など、幼保連携型認定こども園への移行に向けた施設とします。

こども発達サポートステーションそれいゆは1階に設け、地域の中核的な療育支援施設としての環境を整備します。

また両園の玄関は建物北側に集約し、送迎の安全を図ることとしています。

Q 地域の皆様との関わりを、どのように考えているのでしょうか。

A 都島東保育園は、園庭開放、育児相談ひがみやまつり参加など、地域の皆様とともに歩んでまいりました。東都島地域は、高齢化が進むとともに新しい住民も増えてきています。新園舎及び隣接する特養ひまわりの郷が、保育や子育て、障がい者支援、高齢者との交流など、地域の街づくりの拠点として、役割を果たしていきたいと考えています。

Q 今後のスケジュールは

A 現在、実施設計が出来上がり建築確認申請を行っています。9月4日に建設工事の入札を実施、工事業者が決まると、10月初旬から現建物の解体工事、12月に新築工事が始まる予定です。工期は約9カ月で来年9月末に竣工、検査・引渡の後、10月から新園舎の使用開始となる予定です。

Q 建替に向け準備を進めています。都島東保育園では8月16日から、またこども発達サポートステーションそれいゆでは9月1日から、仮園舎で保育・療育を行います。また在園児・卒園児と現園舎のお別れ会が、8月に3回に分けて行われます。東都島老人憩の家はどのようなのでしょうか。

A 工事に備えて、都島東保育園が相談室として使用している建物を温かい雰囲気のある老人憩の家に大改修し、利用していただくことにしています。

最後に―工事期間中は、仮園舎での生活になりますが、安全な保育・療育に努めたいと思います。私たちも園児も新しい園舎での教育・保育が楽しみであり、一日も早く開始できるようによろしく願います。

都島乳児保育センターの計画は？



都島乳児保育センターは開園52周年。建物の1階がセンター、2階・4階が賃貸アパート「あやなす荘」で、法人の中で一番古い施設です。子どもたちがより安全に過ごせるよう、私たちは新しい都島乳児保育センター園舎を待ち望んでいます。今後の計画についてお尋ねしました。

木の温もりのある ドイツの田舎風の建物を計画

都島乳児保育センターは、老朽化が著しくまた耐震基準にも課題があるため、建替準備を進めてきました。本年7月には、新しい都島乳児保育センター建設用地として、都島児童センターの近隣のモータープール（約307㎡）を購入しました。都島東保育園と同様、大阪市の民間保育所建替整備事業（平成31年度）として採用いただくため、本年度、建替整備を申請することとしています。

現在、新園舎の基本設計をしています。乳児の施設であることから、法人では初の木造（枠組壁工法）の建物を検討しています。塔屋のある3階建てで、ドイツの田舎にある建物をイメージしています。乳児期に大切な木の温もりのある建物、子どもたちが笑顔でゆったり過ごせる保育室などを考えています。

大阪市の補助事業として採用されれば、平成31年の夏頃から、新園舎の建設にとりかかることにしています。楽しみにしてください。

子どもたちの時間を大切にしたい!

そのための、効率化と情報の共有化の実践

EX:「日誌」をクラウド化する試み

「学童の先生って、子どもが帰ってくるまで何してるの?」



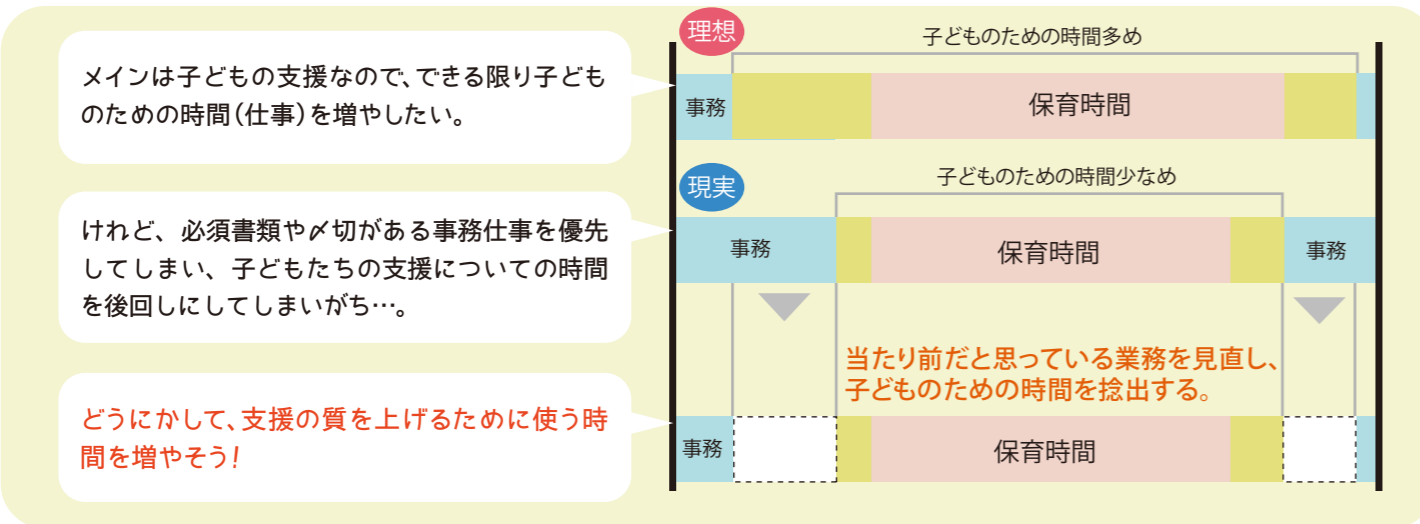
ってよく聞かれるんですが

運営を支える事務	支援の質を高める準備	子どもたちの活動を支援
<ul style="list-style-type: none"> 補助金申請書類 各種書類作成・管理 会計 行事準備 日誌 シフト作成 	<ul style="list-style-type: none"> 保育準備 ケース会議 実践研究 専門知識・技術修得 スキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 関係づくり 子どもの理解 保育・支援の実践 関係機関連携 保護者支援 環境整備

と、普段の保育以外にも意外とやること多いんです

でも、ぜんぶ欠かせない大切な業務!!

そんな中、都島児童館では業務内容を見直し、子どものために使う時間を増やす取り組みをしています。



さらに 効率化だけでなく実践に生きる仕組みづくりを目指して

放課後児童クラブの規定 指定の項目が入っていれば 様式は問わない

具体的な改善実績

- 手書き書類をデータ入力
- 事務所環境整備
- ネット環境整備
- 登降館管理システム導入
- シフト作成システム作成
- タスクボードTrello導入
- 勤務時間編成の調整・変更

日誌の様式を変更

Pick up

日誌をつける上での課題

- もっと簡単に作成できれば
- 習慣化できれば
- もっと保育に活用できれば

実践例

クラウドサービス Evernoteを利用した日誌作成



【活動内容】
セミを見つけては声をかけ合い、喧嘩しながらも協力して採集を楽しんでいる。持ち帰ったセミを袋に入れて飼おうとして、他の子たちから反感を買い、逃すこととする。

【ストレングス視点】
普段強気な男の子と虫の好きな子との関係が虫捕りの際には逆転し、新しい関係性が生まれている。

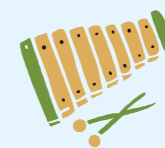


※Evernote Businessという有償サービスを使用し、個人情報等の管理には十分に配慮しています。

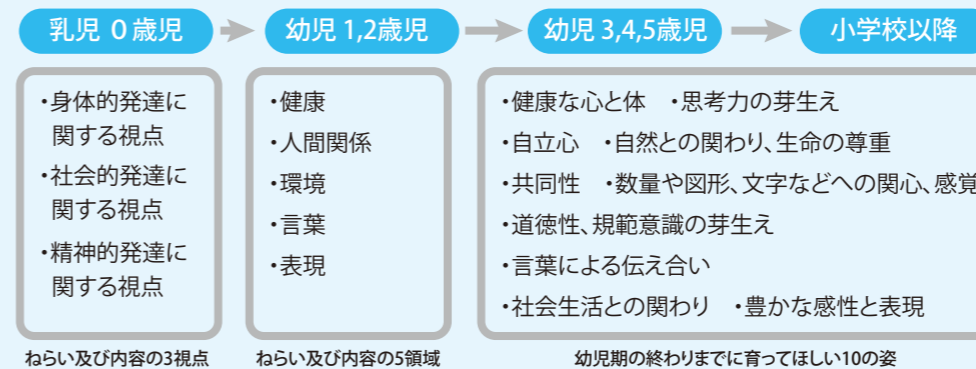


あそび(活動)は自ら作り出すから

楽しい 本気になる 学びにつながる



乳幼児期の保育過程※



養護 「生命の保持・情緒の安定」

①「知識・技術の基礎」②「思考力・判断力・表現力等の基礎」③「学びに向かう力・人間性等」

3つの資質・能力

保育所保育指針・幼保連携型認定こども園【教育・保育】要領の同時改訂

今回の同時改訂では、幼児教育(環境を通して行う教育)・遊びを通しての総合的な指導のもと3つの資質・能力を子どもが主体的・対話的・能動的に身につけていくことが求められます。

それだけでなく、小学校就学に向けて各施設と小学校との接続についても重要視され、図の幼児期までに育ってほしい10の姿を手掛かりに子ども一人ひとりの発達を長期的な視点で捉え直し、幼児教育と小学校教育の教育内容や指導の仕方の相違点・共通点を理解しあうことも求められています。



特別(専門的)活動

0~5歳児の就学前の子どもたちと関わる中で就学時に身につけておきたい力はあそびや活動の中で育まれます。特に音楽、体育、英語、プログラミングの特別活動ではそれぞれの活動ごとの「ねらい」に沿って専門的な力を育みます。

あそびからの学び

子どもたちはその年齢に応じたあそびや友だちとの関わりの中でいろいろな発見や体験を重ね、たくさんのことを学んでいきます。

私たち法人の保育者は子どもとの関わりの中で「子どもの主体性(気持ち)を引き出すこと」を常に心掛けています。

一人ひとりの子どもたちの気持ちや欲求に気づき、受け止め、興味や関心のあることをあそびから得る学びを大切に、図※のような0歳から就学前までの発達過程を見通した一貫

したカリキュラムを基に教育・保育活動を展開しています。

家庭とはちがう集団生活の中でだからこそ育まれる乳児期における身体的・社会的・精神的な発達。そこから広がる保育者や友だちとの人間関係、その中で育まれていく協調性…。そんな力を下地に、乳幼児期から小学校以降へつながら「発達や学びの連続性」を大切に、法人では教育と保育が一体的に行われ、子どもたちは自らの創造性や表現力を育むさまざまな活動に取り組んでいきます。

わが子の育ちに不安を感じたら？

みんなの元気を応援します！

集い、語らう。憩い、楽しむ。
みんなで子育て！みんなで応援！

こども発達サポートステーションそれいゆ

フレンドリーせいいく



発達に心配のある子どもたちが週に数回通われています。お子様に必要と思われる援助・助言を行いながら成長を促し楽しく過ごせるよう支援しています。

毎日通いながら、さまざまな体験を重ねていくことで、生活のリズムを整え、自分でできること、楽しめることを見つけていきます。

子育てされる中で、ふとお子様の発達について考えたり、疑問に感じる時などご自分にもあるかと思えます。こんな時、いつでもお気軽にご相談ください。

たとえば、『人とやりとりするよりも、見るものやおもちゃに興味がある』『急な変更が苦手』『気持ちの切り替えができない事が多い』『約束したことを忘れてしまつて気付いていないことがある』：わが子の姿を見て、ときに不安を感じたり、心配になったことはありませんか？

子どもの育ちには、一人ひとりの個性があります。ことばが遅いみたい…。すぐにかんしゃくをおこす…。人を押しついたり、叩いたりしてしまふ…。その個性を周りの大人が理解し、お子さんの成長・発達を促すにはどのようにしたらよいか！。

大阪市内には10カ所の福祉型児童発達支援センターがあり、こども発達サポートステーションそれいゆは、その一つです。発達に遅れのあるお子様（2歳〜就学前）が毎日通園されており、生活や遊びの場面からお子様やご家族への相談・援助・助言を行っています。またそれいゆ以外にも、法人の児童デイサービス（3事業所）では、幼稚園・保育園に通いながら、



06-6925-5510

こんなお話もされています

- ・お盆に帰省する予定だけど、何持って行ったらいい？
- ・長距離の電車移動の必需品や便利アイテムは？
- ・離乳食や予防接種の最新情報について
- ・大阪（城東区？）のおばちゃん面白くない！
- （蒲生四丁目付近を子連れで歩いていたら）「日本の宝を産んでくれてありがとう」と言われました
- ・人数の少ない日などには、個人的な悩み相談をする方もおられます。

Qどんな方が来られていますか？

初めての出産をした若い方が多いです。また、地方（北海道から沖縄まで）から引越してきた方も多いように思います。

前を通りかかっただけ興味を持った方や、お孫さんが産まれたばかりのおばあちゃんが、娘さんとお孫さんの為の遊び場探しで話を聞きに来られることもあります。

利用の目的は皆さんそれぞれ、自由な感じですね。

京阪野江駅のすぐそばにある「つどいの広場」です。家庭で子育て中の親子（おおむね3歳未満）が気軽に集い、交流を図ることのできる身近な場として、地域に開放されています。講座やイベントなども行なっていて、毎月いろいろなお楽しみがあります。皆さんのように利用されているんでしょう？。そこで今回、フレンドリーせいいくの職員に色々聞いてみました！



よだれのついた玩具は、一旦回収してきれいにしてから、また遊んでいます。

利用者の声

- ・赤ちゃんを連れていく所がどこにもなかったから近所に出て救われた。
- ・大阪市の委託事業だから、安心して利用できる。
- ・清潔感もあって安心。
- ・近い年齢の子どもが集まっているので少し先の姿が見れて参考になる。
- ・毎日のように利用していたけれど、保育園に行く事になりなんだか卒園するような気持ち。今までお世話になりました。

みんなのサロン ゆいまーる

都島第二乳児保育センターの3階では、地域交流の場としてサロンを開放しています。親子が安心して遊ぶスペースとして、お年寄りや子ども同士、年齢に合わせた室内あそびや月に1度の季節に応じたイベントも開催。イベントでは給食試食会や制作会、そしてクリスマス会や節分等盛りだくさんの内容を用意しています。

様々な年代の方がお茶を飲んでおしゃべりしたり、世代を超えて交流の場所となっております。ゆいまーるでお友だちができた保護者の方もおられます。お子さんと保護者の交流の場所として、世代を超えた語らいの場として、多くの方のお越しをお待ちしています。

プレゼントをもらって大喜びのクリスマス会



月・火・木 10:00～12:00
登録料 4月～9月 600円/10月～3月 600円 ※月割登録あり

06-6921-7221

都島第二乳児保育センター

病後児ルームひまわり

病後児保育とは…
病気やケガなど回復期のお子様を保育すること。



『医師連絡票』が必要！

都島友瀧乳児保育センターまたは、大阪市（病後児・病後児保育事業ホームページ）からダウンロードできます。詳しくは病後児ルーム「ひまわり」のホームページをご覧ください。

注意事項

- 感染症であつても回復期であれば利用できません。
- 朝から嘔吐を繰り返す、水分が摂れていない場合はご遠慮ください。
- 朝の受け入れは38度まで可能です。利用中38度を超えても、機嫌がよく、ごはんが食べれて、睡眠がとれていればお預かり出来ます。
- あくまでも回復期であつて感染しない状態であることを条件としています。

子どもが風邪をひいて熱は下がったけれど、まだ心配…でも、会社を休めない

都島友瀧乳児保育センターでは、大阪市からの委託事業として病後児保育『病後児ルームひまわり』を開設しています。病気がかかった後は、静養の期間がとても重要です。体調が戻らない状態で集団保育に戻るとご負担が大きい、再び症状が悪くなることもあります。

病後児保育と病後児保育の違いとは…簡単に言うと、学校保健安全法に書いてある感染症は病後児保育。いわゆるただの風邪は病後児保育です。

06-6929-0720

大人気の「ゆずりあい」コーナー



これからのフレンドリーせいいく…

利用したくてもできていない方、利用を思いつきもしないほど、育児に疲れている方もおられるだろうと思います。今後は、いろいろな機関とも連携して、たくさんの子育て家庭をサポートしていけたらと、思っています。

場 所：城東区成育 2-2-21 ナニワランド野江 1階
開館日時：月～金曜日 10時～15時

06-6935-6800

心も体も元気になる 地域支援の拠点をめざして

施設長 石井 昭博



日頃は、ご利用者様やご家族様をはじめ、地域の皆様におかれましては、友渕地域在宅サービスステーションひまわりに温かいご支援とご協力いただき、心からお礼と感謝を申し上げます。

このたび平成30年4月から友渕地域在宅サービスステーションひまわりの施設長に就任しました。

平成22年4月からひまわりの郷から異動になり、当施設で介護職、相談職として培ってきた経験を活かし、ご利用者様、ご家族様、皆様と真摯に向き合い、皆様が、いつまでも健康で、そして笑顔あふれる生活が送れるように努力して参ります。

昨今の高齢者施設を取り巻く環境ですが、2017年には、介護事業者の倒産件数が、115件と過去最多を更新し、深刻な人手不足に加えて、2015年度の介護報酬のマイナス改定や同業他社との競争の激化が背景にあると言われております。

そのような状況の中、4月以降、新規利用件数も増えており、少しずつですがひまわりを認知していただく機会も増えていると感じております。

また、7月から介護予防事業の一環として、大阪市の介護予防ポイント事業の登録も行いました。近隣の方々を中心にボランティア活動を通じて、利用者様との交流を図り、ご自身の介護予防にも活用していただきたいと思っております。

今年度の介護報酬から、利用者様の状態を維持・向上について評価される加算（ADL維持加算）も新設されました。ひまわりでは



要介護者59名中19名（32%）の方が利用年数5年以上利用され、その内2名の方が10年以上利用されています。要介護状態になり、ひまわりを利用していただくことで、残存機能の維持に貢献出来ていると感じております。

以前は、利用していただくことだけで、評価されてきましたが、今後につきましては、結果・成果を求められることになり、現状のサービス状態を維持するとともに、サービスの質を向上の為、研修等を充実させ、情報共有を行いながら、職員のスキルアップにつなげて行きます。施設サービスにつきましては、機能訓練・レクリエーションの充実、サービス提供時間の拡大など、様々なニーズに応えられるようなサービスを実施できるように取り組んで行きます。今後とも友渕地域在宅サービスステーションひまわりをよろしくお願ひ致します。



今年の4月にひまわりの郷から8年ぶりに、ひまわりに戻ってきました。この間ひまわりでは、2階の改装があったり、利用者さんも入れ替わったりと完全に「浦島太郎」状態でのスタートでした。しかし、ひまわりは私の介護人生の原点であり、育ててくれた場所でもあります。今こそ恩返しの時だと感じています。

利用者さん、スタッフまた地域のボランティアの方々、ひまわりを集ってくるのは「人」であります。天照大神が天岩戸を開けるきっかけになったのが「笑い声」だったように、人は「笑顔」「笑い声」のある所に引き寄せられると信じています。ひまわりを大阪「笑い」のあふれる施設にすることが私の目標であります。そのためにはまず自分が楽しむことを忘れず、笑顔の連鎖を作っていきます。

主任 中田 純

看取りの実現に向けて

介護支援専門員 田中 浩司

ひまわりの郷に入所されている方は、いつかは加齢や病気と共に弱っていきます。子どもは成長とともに親の手を少しずつ離れていきますが、高齢者の方々は少しづつ手が必要になっていきます。食事でも体の変化に合わせて普通食からキザミ食へ、そしてミキサー食へと変化をしていきます。その変化の過程をひまわりの郷で過ごしていく中で、人はいつかは必ず死を迎えます。平成14年にオープンしてからこれまで230名の方々の退所がありました。そのほとんどの方は病院に搬送されているのが現状でした。

厚生労働省の資料で、特別養護老人ホームでの看取りの実施は約7割との結果がありました。それだけ、病院ではなく施設で亡くなるということが現実にあるのだということです。ひまわりの郷でも遅ればせながら、看取りの実現に向けて準備をすすめているところです。昨年からは施設内では看取り検討委員会が発足して、看取り介護の準備として職員への内部研修を行ってきました。また、今年の5月に看取りについてのアンケートをご家族に実施しました。まだ返事が返ってきていない方もいらっしゃると思いますが、結果としては7月最初の時点では約6割の方が看取りを希望されているとの返答がありました。残り4割の方も看取りを希望しないというよりも、まだわからないという返答の方が多かったです。はっきりと延命を希望される方は1割にも満たない結果となりました。アンケートの結果からも、ひまわりの郷での最期を希望される方も多くいらっしゃるということがいえます。

どちらが正しいということではなく、人が必ず迎える死をどこで迎えるかです。その選択肢の中に今後はひまわりの郷を入れることが、入居者様やご家族のニーズに添うサービスの展開だと思えます。

看取りをする上で、大きなポイントとして医師との連携は欠かせないことができません。医師の判断により、看取り介護が開始となり、死亡診断も医師が行います。ひまわりの郷で安心して最期を迎えることができるためには、医師との連携を今まで以上に密にして、入居者様やご家族様の思いに寄り添いながら、他職種間で協力しながらひまわりの郷全体の取り組みとしてこの看取りをとらえる必要があります。一日も早く実現できるように体制を整えて、実際に取り組んだ結果などをご報告が出来ればと思っています。

ひまわりの郷の改修工事について / 施設長 海老子 隆一

ひまわりの郷は、2002年4月にオープンしましたが、既に16年の月日が経ち、真新しかった設備や機器も入替や改修の時期となってきました。そこで、次のような改修や更新を順次行っています。

ひとつは入浴設備に関する改修です。ひまわりの郷の浴場は、屋上にあつて展望も素晴らしい、オープン以来、大型の湯船に温泉感覚でのんびり入浴できると好評をいただいておりますが、入居者の方々の高齢化や身体等の重度化、また衛生問題等により、これまでの一般浴をなくして、個別に入っていたく個浴に替えました。同時に大型入浴機器も入れ替えをすることにいたしました。

また大型洗濯機や大型乾燥機も消耗し、開設当時にはなかった洗濯専門のサービスが近年充実したこともあり、洗濯業務を外部業者に委託することとしました。洗濯室は、部屋を分けて、ひとつは家族さんがご利用いただけるようなお部屋としてリニューアルします。たとえば、看取り時に活用するような利用の仕方を考えています。同時に、屋上の塗装をやり直して、屋上園庭もリニューアルします。



先生、セミ捕って～

沖縄はますます頑張って、輝いていきます!!

平成30年7月より、渡保育園、松島両保育園では、これまで以上に質の高い教育・保育、そして働きやすい職場環境を目指し、新たな体制づくりを行いました。今回、渡、松島各園には新しい園長、主任が就任、これまで松島保育園の園長だった伊禮良樹理事は常勤理事となり、二園の経営管理の統括的なマネジメントに専従することになりました。

今回の取り組みは、経営面でのガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、さらには都島友の会全体がいま推し進めている働き方改革の一環として、職員一人ひとりの立場や視点に立ちながら業務の効率化を行うと共に、職員のスキルの向上を図り、職員、園全体が元気に生き生きと働ける仕組みをつくっていくこととするものです。

渡、松島両園とも、新園長、主任、そして職員全体が一丸となり、今後10年先、20年先を見据えた教育・保育で、子どもたちのもとで輝く笑顔のために、そして将来を担う豊かな人間づくりに努めたいと考えています。

地域の方に愛され、地域と共に支えあう保育園として、また職員が生きがいや遣り甲斐をもって自らの専門性を向上させながら働くことの出来る魅力ある保育園として、私たちは未来に向けて新しい歴史を作っていきます。



プールあそびサイコー!



パネルジャングルジムで遊んだよ



みんなでボディペインティング!



散歩に行って、おごまだら蝶を採ったよ。



石畳をみんなで歩く



シーサー作りに挑戦



雑草を抜いて道をきれいにしたよ



松ぼっくりをたくさん拾ったよ



園長 ^{いれい}伊禮 明子 **WATARU** 渡保育園



今度、渡保育園の園長に就任することになりましたがこれまでの本部事務を主に担当してきました。それでも可愛い子どもたちの声と成長をいつも側で感じてきました。渡保育園は首里の城下町で文化財を間近にし、落ち着いた環境にあります。

地域に根ざした保育園、開かれた保育園を目指し、地域の祭りへの参加や近隣のお年寄りの園行事への招待等に取り組んできました。

また多くの卒園児が成長し、保護者となり、園への協力をしてくれることへの感謝と喜びはとても大きいものです。

これからも子どもたちの保育を、一番に考えながら保護者からも渡保育園を選んで良かったと思ってもらえるよう、地域からも渡保育園の存在を喜ばれる園を目指して、職員と力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

日々の保育で子どもたちの成長に喜びを感じ、笑顔に癒されパワーをもらっています。これからも子どもたちの輝くキラキラの笑顔がたくさん見られるよう明るい元気な園をめざし、職員一同頑張っていきたいと思っています。



主任保育士 稲福 かおり

主任保育士 伊禮 由樹



松島保育園の主任になりました伊禮由樹です。経験も浅く、未熟ではありますが、今の松島保育園の良い保育を大切に、子どもたちの安全と成長を目指し、ファイトいっばい頑張っていきたいと思

平成元年より渡保育園に勤務して、早いものでもう30年が経ちました。

これまでは、渡保育園一筋で保育してきたのですが、理事長先生から7月から松島保育園へ異動というお話があり、正直不安でいっぱいでしたが、微力ながら心機一転で頑張ろうと決意しました。

当法人の保育理念、方針を大切に、松島保育園の元気な子どもたちの姿や成長、そして今やっている事の情報を積極的に発信していきたいと思っています。これまで培った渡保育園での経験を活かして初心に返り地域に根差した保育支援を職員と共に計画し、地域貢献ができるよう「温故知新」の精神でより良い保育を目指して頑張りたいと思います。これからもご支援宜しくお願い致します。



MATSUSHIMA 園長 ^{とうり}東里 正江 松島保育園

内外に開かれた 研修センターを目指して

取材：都島乳児保育センター 演 由香理

平成30年度 比嘉正子地域貢献事業研修センター主催
保育士等キャリアアップ研修



報告

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設等に求められる役割も多様化・複雑化する中、保育教諭・保育士には高度な専門性が求められるようになっていきます。こうした中、平成29年4月には、厚生労働省より、保育士の待遇向上と専門性の強化に向けて保育士等キャリアアップ研修とそのガイドラインが定められ、研修（保育士等キャリアアップ研修）の修了者には処遇の改善が行われることになりました。

こうした状況を踏まえ、都島友の会では、比嘉正子地域貢献事業研修センターの主催で、5月29日より7月26日まで「都島友の会 保育士等キャリアアップ研修」を開催しました。研修は、①乳児保育、②幼児教育、③障がい児保育、④食育・アレルギー対応、⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援・子育て支援の6つの専門分野とマネジメント研修の計7分野。

各分野、充実した講師陣をお迎えし、受講生の皆さんが「分かりやすく、より深く理解の進捗が図られる」ように、一つひとつの講座を少人数クラスとし、講師の先生方との対話や受講生同士の討論やグループワークを大切にしたいとセミナー形式での研修でした。

今回のキャリアアップ研修では、法人の職員のみならず、外部からも多くの方が受講され、研修後、先生方のお話が分かりやすく、とても楽しく勉強できたとの高い評価をいただきました。

比嘉正子地域貢献事業研修センターでは、今後、研修終了後に寄せられた感想やアンケートをもとに、プログラムの内容、開催時期や時間等、様々な検討を加え、皆さまが受講しやすく、より質の高い研修にしていきたいとのことでした。

研修を受講して：

- ・色んな考え方があり、参考になった。
- ・勤務年数が違う職員の意見や考え方を聞く機会が勉強になった。
- ・グループワークで話をする時間があり良かった。
- ・他の保育園の保育を聞く時間があり、また DVD を見たりして分かりやすかった。
- ・講師の先生方との距離も近くコミュニケーションも取りやすかった。
- ・グループワークもでき、丁寧な質の高い研修を行えた。

保育士等キャリアアップ研修について：

- ・キャリアアップ研修を受け、修了証を発行される事はこれからの自分の財産になる。
- ・キャリアアップ研修を受ける際に有休や時間休を取って受けるが、園やクラスの職員が職員体制を考えて受けさせてもらっている事を覚えておく。
- ・自分のキャリアを上げる事で処遇改善にも繋がり、仕事への意欲が出るのではと感じた。
- ・なぜ実費なのかと疑問はあったが、自分のキャリアアップの為であり財産にもなるという事を踏まえ、また自分でお金を出すという事で勉強しようという意欲へ繋がるのではと思った。



受講者の感想

キャリアアップ研修の障がい児保育を受けました。講義の冒頭、国の示す分野別リーダー研修の狙いを確認してから始まるのですが、その中に「他の保育士等に障がい児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける」との文言があり、助言指導ができるようにということ、今までの研修とはまた一味違う感覚を感じながら参加しました。

講義やグループワークでは様々な事柄を自分の身に置き換えて考えるということを何度もしました。障がいについて考えることはもちろん、保育士として保護者の障がい受容に寄り添うことなど、身近で大切なことも学びました。その中で、日々何気なく行っている保護者との関係構築の大切さを改めて感じるとともに、これまで作ってきた関係がたった一言で壊れてしまう怖さも知りました。

今回学んだことを活かし、保育の現場で他の保育士と共有し、一人ひとりに合わせた配慮、より良い保育を行えるように頑張っていきたいと思えます。



都島乳児保育センター
笹山 沙綾

研修についてのアンケート (抜粋)

今後の研修について：

- ・昼に行う事で集中して聞く事ができた。
- ・夜より昼が良い。
- ・13時からは給食後で引き継ぎなども含めると慌ただしくなる時間帯なので、できれば13時半から良かった。
- ・1年間の間に4つの研修を受ける事は難しい。4年の間に取れるようにしていけたらいいと思う。



保健衛生・安全対策分野

比嘉正子地域貢献事業研修センター

HIMAWARI.NET 連載こらむ

ネットのきもち 13

私は今年68歳になります。
人生の先が見えてくる年齢…

最近、あと少しの人生を気持ちよく楽しみたいという気持ちとは裏腹にやたら腹立つことが多くなり、知らぬ間にムカつくこと口走っている自分が気がつく。これが老いかもしれない!!

20代前半「今頃の若いもんは…」と言われたら「経験論で言わんとい」と噛みついた。

まさに今、自分が経験を振りかざし、「若いもん」にモノを言っている。若い人はこれから自分で考え気付きいろいろな経験を積み重ねることが大切なことなのに、言わすもがなことを言ってしまうことに「瞬間反省(笑)反省してもしても、また言つと孫から叱られる」

相談支援の傍ら、様々な研修も企画し実施している。
5月から7月末まで、保育士の専門性を高める目的の研修「保育士等キャリアアップ研修」を実施。役得か、現役保育士に混じってお世話係として聴講した。

その中の幼児教育分野で、「遊びは自ら作り出すから楽しいし、本気になる、学びにつながる」という言葉が印象的だった。子どもの主体を見逃さず、聞き漏らさず、真摯に受け止める。—そうすれば「目標に向かって頑張る力」「あきらめない力」「人とうまく関わる力」「感情をコントロールできる力」人間として生きていく力が育まれる、とのことだった。

幼少期に関わる保育士の役割がいかに大切か。しかも輝く瞳の傍にいられる幸せも感じられる。まさに「一挙両得。お得なお仕事だと改めて感じた。計105時間の研修では、知らなかった！気付かなかった！の連続。そうそううやうやたんや！うん納得！すこしく新鮮で刺激的、感激することが多かった。

勉強嫌いの私も年齢を重ねると「学びが楽しい面白い」と思えるんだ。
(ここに何も使えないことはないけれど、脳の活性化には貢献できたよ……)

これからの老いを充実するために、全部知っているかのような不遜な態度改め、若い人とともに学ぶことを仕事の中で得た幸せを長く胸に持ち続けたい。

(地域貢献支援員 岡本 和江)



保護者支援・子育て支援分野

採用活動 スタート!!

法人の魅力を、“生の声”で!!

慢性的な保育士不足が課題とされる中で、法人の来年度に向けての職員採用活動が始まりました。

今年、法人が特に力を入れて取り組んでいるのが、学生の皆さんと直接的なつながりやコミュニケーションを図るための独自のアクション（取り組み）です。働きやすさや処遇、環境など、法人の魅力を出来るだけよく知っていただくために、出会いの機会である見学会の回数を増やし、今年毎月第一日曜日に都島児童センターで開催、私たちの働く環境を見ていただくとともに、法人の理念や歴史、保育や幼児教育において大切にしている考え方を互いのコミュニケーションを交えて分かりやすく丁寧にお伝えするようになっています。

また学校訪問にも法人で働く卒業生（OB・OG）の皆さんが積極的に出向き、保育の現状、遣り甲斐や魅力、ときには苦労や悩みなど、後輩の学生の皆さんに現場の生の声を届けるように努めています。



学校訪問に伺いました

法人での見学会以外にもマイナビ就職セミナーや大学主催の就職説明会にも参加しています。先日子ども専門学校の就職説明会へは、都島友の会で働いている卒業生も同行。就職へのアドバイスと都島友の会のアピールを行ってきました。



現役職員から後輩学生へ、日々の保育の様子や就職活動に関するアドバイスをしました。

学生からは「大学の先輩から身近で新鮮な話が聞けて良かった」と感想を貰いました。

多くの就職希望者が来てくれて嬉しく感じています。来年4月、新採用職員とお会いするのが楽しみです。



保育でもよく行っている『バナナチップス体験』をみんなで行いました。体を動かすことでリラックス。笑顔が見られた説明会でした。

見学会を開催!

認定子ども園都島児童センターで6月～9月第一日曜日に見学会を行っています。法人の説明と車での全施設の見学（外観のみ）も同日に行っています。そして、今年度初めて見学会後に採用試験を実施。都島友の会で働きたいと感じた方が就職をスムーズに行えるようになりました。



保育の様子を動画で見て貰いました。



缶バッチ作りの体験会も行いました。どんなデザインにするか大盛り上がり。素敵な缶バッチができましたよ。



軽食をとりながら現役職員との交流会。わきあいあいと盛り上がりました。

平成30年度 新採用職員にインタビュー

QUESTION

① 都島友の会の試験を受けようと思ったきっかけは?
② 就職してみて感じること。

今年も都島友の会に新しい職員がやってきました。子どもたちもニューフェイスの登場に大喜び。笑顔あふれる現場から新人職員の声を聞いてみました。

竹井 花織 (認定子ども園都島児童センター)



① 大学1、2年生時に認定子ども園友渕児童センターで実習を行いました。優しく丁寧に何度も教えてくださる先生方の元と一緒に働きたいと思ったことやのびのびと子どもたちが過ごしている姿を見て私の理想の保育だと思い、都島友の会の面接を受けさせていただくことになりました。採用内定後は都島児童センターに週2日のアルバイトで6ヶ月の間、お世話になりました。

② 実際に働くアルバイトの時とは違い、仕事への責任が重く子どもの命に係わる仕事だということを改めて強く感じました。私が仕事で失敗した時は周りの先生方がフォローしてくださったり、アドバイスをいただける環境で働くことができ、とても嬉しく感じます。

川口 安美里 (都島児童館)



① 見学をした際、先生も子どもたちも活発で楽しそうに過ごしていたのが印象的でした。系列の施設が多く、就職してからもたくさんの職員と交流ができ、学べることが多いと感じました。

② 毎日子どもたちの色々な姿を見るのがとても楽しく、「先生」と呼んでくれることも嬉しいです。まだまだ勉強中ですが、1つずつしっかりと吸収して成長していきたいです。

谷口 亜美 (都島乳児保育センター)



① 学童で働くことが夢で、大学の先生に相談すると募集があったので、見学後に試験を受けることを決めました。

② 子どもの面白い発見やみんなの成長を楽しく見守れることが嬉しいです。

クラブ活動

熱く盛り上がる、フットサル部

サッカー日本代表が日本中を熱く盛り上げたこの夏。密かに都島でもフットサル部が熱い盛り上がりを見せていました(笑)

昨年までは年に2回程度の大会参加にとどまっていたフットサル部の活動も、今年度からは念願のホームグラウンド(都島児童センターのホール)を持てるようになり、月に2回の練習を行っています。さらに、もう一つ大きな変化が!! ついに、なでしこ(女性職員)も練習に参加してくれるようになりました! それに伴い、練習内容もフットサルだけに限らず、鬼ごっこやドッジボールなど、みんなが楽しみながら身体を動かすことができるように工夫しています。身体が温まったら、もちろん最後はフットサル! 「わー」「きゃー」と黄色い声も飛び交いながらも、勝負になれば初心者も経験者も表情は真剣そのもの。清々しい汗をかきつつ、日頃のいろいろな想いをサッカーボールにぶつけて、次の日からの働くエネルギーに変えています。



フットサル部



本部事務局村松主幹も参加しました



速報!! 今年は3位入賞!

バレーボール部は法人の余暇活動として30年以上前に発足したいわば名門(?)クラブです。月2回金曜日に、桜宮中学校の体育館をお借りし、練習をしながら、地域のママさんバレーチームや大阪民間社会福祉事業従事者共済会主催の大会にも参加しています。

今年も大阪民間社会福祉事業従事者共済会主催の大会に出場し、頑張った練習の成果で3位入賞!

年齢や職員経験年数の違う仲間と「勝利」という一つの目標に向かって練習や試合を重ねる中で絆が生まれ、仕事にも活かせるチームワークや結びつきも強くなります。一つのボールをみんなで追いかけて楽しんで身体を動かすことが職員のフレッシュな仕事への糧となり、利用者の皆さまの笑顔へ還元ができる...と感じています。



バレーボール部



和太鼓クラブ

新入部員募集中!!

毎月2回活動している和太鼓クラブ。現在は「祝太鼓」という楽曲を、平太鼓・締太鼓・宮太鼓の3パートに分かれて練習中です。太鼓を叩くことで、気分もリフレッシュ! リズムを上手に叩いた時の達成感やみんなでの曲を仕上げる楽しさを味わえる和太鼓クラブ! 新入部員募集中です!!



「五月会」

—将来の園長、副園長が、ここから巣立っていきます。

園長をはじめ、副園長や主任のサポート役を担う各園のリーダー。次期管理職候補として同じ階層の職員同士が集まり、リーダー専門職に求められる知識や技術を話し合い勉強していくのが五月会です。年に4、5回ほど開催され、他園の職員との交流を深めながら、互いの意識を高め、また意見や情報交換を行っています。

リーダー専門職にふさわしい知識や技術の習得に向けて、まずは初任者から園長までの役割を知り、それぞれの果たすべき職務内容、習得すべきスキルをしっかりと把握し、その中でリーダーとしてなすべき役割を自覚しながら、職員に対する指導育成が出来るか、主任や副園長への補佐や支援が出来ているかどうかを、グループワークや発表を行いながら確認し合います。そしてそこから法人の組織運営や経営責任など、将来就くかもしれない管理職の仕事や役割を理解していくことを目標としています。

リーダーという中堅職員は、自分の学年・クラスだけでなく、他学年や園全体に視野を広げ意識していくことが大切です。他園と情報交換することにより、新しい知識が増えたり、意見を出し合うことにより良い刺激の場となっています。

都島友の会の土台となり、法人全体で力を合わせより良い保育を目指し、自分の立場を意識し他園との横のつながりを大切に行ける五月会で、今後多くのご参加を学べればと思います。



暑い夏を乗り切れ! ひまわり会のビールパーティー



ひまわり会のビールパーティーが7月13日にありました。暑い日も続き疲れた身体を冷たいビールと美味しい食事で癒しました! 各園の余興では仮装しての歌謡ショーや、ダンスで会場は大盛り上がりでした。



理事長先生の挨拶



YMCAダンスや昨年流行ったバブリーダンスを会場も一緒に楽しみました。





法令と業務 (ルールと仕事)

～私たちが遵守すべきもの～

本部事務局長 寄瀬 博光



私たちの社会福祉法人都島友の会は、社会福祉法人の根拠法である「社会福祉法」の規定に基づき運営されています。

昨年4月に改正社会福祉法が施行されましたが、新しい定款・定款細則に沿い、当法人は、議決機関である「評議員会」、業務執行の決定機関である「理事会」、法人の業務監査及び会計監査を行う「監事」のもと、決定された各施設の事業が進められています。

また定款細則に基づいて、責任の明確化と業務処理の円滑化を図るため、理事長、常務理事、施設長等の「職務権限規程」が定められました。理事長は法人を代表し業務を執行するとともに、日常業務として理事会が定める専決事項を執行しています。

社会福祉法人は「社会福祉法人会計基準」に従い、会計処理を行うことが義務づけられています。経理事務は本部事務局が統括していますが、当法人では、この基準に沿い適切な経理事務を行うとともに、支払資金の収支の状況「経営成績及び財政状態を適正に把握するため「経理規程」を定めています。改正社会福祉法及び新定款の内容を踏まえ、規程を改正しましたが、現在、13章80カ条からなる重要な規程となつています。

このように、法人の業務を進めていくにあたっては、様々な法律・省令などに準拠して当法人の規則・規程が定められています。新たな法令の制定や改正、事業の追加等があれば、法人の定款・規程等も理事会の承認を得て改正されることとなります。最近の改正を見てもみましょう。

職員が取り組むこと、虐待防止委員会の設置、虐待若しくは虐待が疑われる場合の通報と事実関係の調査・判断・対応、虐待と判断した時の原因究明と再発防止策の検討、関係機関報告などの対応を定めています。

●法令等遵守に関する規程

幼保連携型認定こども園・保育所の設置者である当法人では、「子ども子育て支援法」に基づき、法令遵守責任者を選任しています。

さらに、法人の事業が適正に行うための基本指針、組織体制の整備、各施設長・施設長の責務を定めた「法令等遵守に関する規程」を制定しました。

●内部通報に関する規程

法人の業務運営に関する違法又は不正な行為の早期発見及び是正を図り、もって法令等遵守した業務運営の強化に資すること目的として、内部通報制度を設けました。

規程では、内部通報の対象となる事項、通報窓口と方法、事実関係の調査と是正・再発防止措置のほか、通報者の保護及び責務等を定めています。

●定款の一部改正

都島桜宮保育園の増築に伴う資産の増加、公益事業として、本年5月から開始した「保育士等キャリアアップ研修事業の経営」を追加しました。

就業規則の一部改正

職員の皆さんの就業に関する事項を定めた「就業規則」がありますが、育児・介護休業法の改正を受け、平成29年10月と本年4月に就業規則・パートタイマー就業規則・育児休業規程・介護休業規程を一部改正しました。

主なものとして、介護休業の分割取得が可能になったほか、介護休暇が半日単位で取得できます。また最長2歳まで育児休業の再延長が可能となったほか、子の看護休暇が半日単位で取得できることとなりました。

また労働契約法の改正に伴い、有期労働契約が5年を超えて反復更新された場合に、申込により無期労働契約への転換されるため、パートタイマー就業規則の改正と無期転換職員就業規則を定めました。

就業規則はこの他、当法人顧問の社会保険労務士の意見をもとに、採用・休職、服務規律、懲戒等の各条項について改正追加を行いました。

新しい規程の整備

●虐待防止対応規程

法人各施設において、虐待防止に関するマニュアルの作成と職員への周知徹底など、利用者に対する虐待の未然防止に取り組んでいますが、新たに法人として、児童及び高齢者、障がい者に対する虐待を防止し、安全で快適な生活を送れるよう、「虐待防止対応規程」を制定しました。虐待の種類、虐待の未然防止のため各施設長・

各施設の法令等

法人各施設の設置・運営にあたっては、それぞれ根拠となる法律や政省令、国からの通知等に基づいて行われています。

例えば、児童福祉施設である保育園については、児童福祉法、子ども子育て支援法及び規則・政省令、設備及び運営に関する基準等が定められています。そして各施設では、運営規程、保育所保育指針に沿って事業が進められているのです。

幼保連携型認定こども園は、学校及び児童福祉施設ですので、児童福祉法その他、学校教育法も適用されることとなります。また運営には教育・保育要領があります。

このように法人のすべて事業は、法令等に基づくとともに、評議員会・理事会で決議された事業計画や意思決定に沿って進められているのです。

法令等は、時代の要請に応じて今後も改正されます。職員の皆さんも、私たちの社会福祉法人、日常の仕事の位置付けと展開、そしてその元となるルールについて、今一度考えてみるのが大切です。

大阪北部地震を通して見えた

危機管理コミュニケーションの課題

6月18日7時58分頃、大阪北部を震源地として発生した地震は、施設によっては登園の時間と重なり、利用者の方にも大きな不安を与えました。

地震発生時には、職員も対応に大慌てになりましたが、その後は各施設とも日頃の防災訓練のノウハウを活かし、職員が率先して子どもたちの避難誘導を行いました。園の4、5歳児ともなると園内に緊急放送が入った途端に「机の下に入って身を守る」姿が自然と見られました。このような姿に普段の防災訓練のあり方の重要性を再確認、また子どもの頼もしさを感じた場面でした。

後日、保護者の方からも余震時には園と同様家でも率先して「自分の身を守ろうとする姿に感心しました」という話をお伺いしました。

ただ、震災直後、固定電話や携帯電話は発着信が集中し、ほとんど通話ができませんでした。しかしフェイスブックやLINE、ツイッターなど交流サイト(SNS)は問題なく利用できていたそうです。今回は揺れもおさまり、時間の経過とともに落ち着きを取り戻しましたが、翌日の余震、さらには7月中旬に起きた大雨洪

水災害など、災害緊急時の連絡体制など今後に向けての課題も見えました。

今後は早めのお迎えの時間の調整や、家庭保育へのご協力、さらにライフラインが断絶し保護者の帰宅困難者が多数出ることなども考えられます。園児の安全確保はもろんのこと、法人全体としてSNS等を使う保護者や利用者、職員との連絡や安否確認、情報収集など緊急時にも耐え得る情報ネットワークの構築をしなければならぬと考えています。



園庭の芝生に避難誘導



避難準備にとりかかる乳児クラス

都島児童センター 錦城 栄旭

今号の表紙

- ① 都島児童館
- ② 特別養護老人ホーム ひまわりの郷
- ③ 都島友渕乳児保育センター



編集後記

本年4月より改定された保育園の新「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の改定や保育士の処遇改善など、私たちを取り巻く環境は現在、大きく動いています。その中で、ゆんたくの編集に携わり、改めて法人の歴史や法人の辿った足跡を知ること、諸先輩から継がれているものの大きさ、大切さをひしひしと感じます。先人に負けることなく、職員一一致団結して、良い保育のため、法人の新たな歴史をつくっていかねば…。



都島友渕乳児保育センター 西田 直未